

## 介護・医療連携推進会議開催報告書

R8 年 3 月 30 日

事業所名	24時間在宅ケアステーション敬寿園		
担当者	篠崎 光浩	電話番号	666-6150
1 開催日時	令和 8 年 3 月 26 日 10:30 ~ 11:30		
2 開催場所	山形敬寿園		
3 出席者	出欠		
(1) 委員 4 人	×	武田直子	24時間在宅ケアステーション敬寿園 家族代表
	×	木幡節子	24時間在宅ケアステーション敬寿園 利用者代表
	○	天津川徳子	東沢地区民生児童委員協議会 副会長
	×	松尾 佳恵子	東沢地区福祉協力員 代表
	○	佐藤 正俊	東沢地区老人クラブ長生会 会長
	○	木村 育雄	妙南町内会 会長
	○	大谷瞳	愛らんど地域包括支援センター
(2) 事務局 4 人		松田奈津子	山形敬寿園 施設長代理
		篠崎光浩	24時間在宅ケアステーション敬寿園 管理者
		矢内和香奈	24時間在宅ケアステーション敬寿園 主任介護員
		武田彩	連携する訪問看護事業者の管理者
4 活動状況報告	別紙のとおり		
5 活動状況に関する評価			
	今期の活動は概ね適切に実施されている。		
6 要望、助言			
①	BCPを作成しているとあったが、どういったものか		
②	看護との連携のメリットはどういったものか		
7 要望、助言に対する考え方			
①	災害や感染症が起きても利用者への必要なサービスを止めないための事前計画のことで、自然災害、感染症対応に分けられ安否確認や職員の参集方法、防護服の管理、訓練等があり修正もしながら作成しております。		
②	介護側からは、医療の専門職に常に相談できる。何かあった場合は駆けつけともらえるという安心感があり、看護側からは普段からかかわっている気つきもあるため、支援以外での情報収集があるお互いに連携して支えていくことが、より良いサービスに繋がっている。		
8 その他特記事項			
①	自己評価・外部評価について説明し意見をいただいた。		
②			